

コースタイム	場所	標高	実標高	備考
4:00	桧枝岐役場駐車場発(車)			
4:37	登山口駐車場発(登山開始)	980m		
5:35~5:40	休憩	1390m		
5:57	水場通過	1500m		
6:44~7:00	頂上まで1.7km (朝食)	1745m		晴れ間
7:27~7:32	駒の小屋	1895m		ガスの中
7:55~8:00	会津駒ヶ岳頂上	1970m	2132m	
8:05	分岐	1940m		
8:33~8:45	中門岳	1885m		ガスの中
8:50	最奥の池(中門岳)	1900m	2060m	
8:56~9:00	中門岳	1885m		雨降り出す
9:21	分岐	1930m		
9:33	駒の小屋通過	1895m		雨
9:58~10:05	休憩(雨宿り)	1660m		
10:21	水場通過	1485m		
10:40~10:45	休憩			雨あがる
11:05	登山口駐車場着	965m		

○初日の朝

- 4:00の目覚ましで起床。トイレも出ないのですぐ出発。まだ暗い。
- 4:20 登山口駐車場着、すでに駐車場満車。車4台くらいのグループが駐車中。奥の駐車場に入り縦列駐車、ここはまだ余裕あり。
- 4:37 登山開始。もうかなり明るくなってきた。一人だと休憩も取らずに1時間ぐらいは登り続ける。駐車場を占有していたグループを追い越して休まず登り、水場も休憩せず通過。途中で朝食休憩を取り駒の小屋を目指す。まだこの辺は晴れ間も見えるほど天候良し。八合目あたりからガスの中へ突入。でも花は豊富で道の両脇には「マイズルソウ」や「イワカガミ」が咲きガスの中にぼうっと浮かぶ駒の小屋に近づくと「ハクサンコザクラ」「イワイチョウ」が咲き始める。



登山口



マイズルソウ



イワカガミ



ハクサンコザクラ

駒の小屋の池周辺では「ハクサンコザクラ」が満開。ただガスが立ち込めもうひとつパツとしない。



ガスの中に浮かぶ駒の小屋



小屋の周りに咲くハクサンコザクラ

- ・朝食の牛乳が悪かったのか、急にもようし頂上まじかで「大でマーキング」。
- ・頂上ではガスの中、神戸から来た中年のご夫婦と写真を撮りあう。
- ・中門岳への道は昨年と同様雪渓がまだかなり残っているが、アイゼンを使うほどではなくトレースもはっきりしているので問題ない。途中の湿原はガスがたちこめ見にくいがいワイチョウ、



イワイチョウ



ピンクの絨毯

- ショウジョウバカマ、イワカガミなどの花々が咲き乱れ実に美しい。ハクサンコザクラの群生がみごとで、まさにピンクの絨毯だ。
- ・中門岳では私一人だけ、誰もいない。途中の道でも数人とすれ違っただけ、寂しい。
 - ・中門池の先へ更に登り行き止まりの池塘を一周して戻る。
 - ・帰りの道はガスが立ちこめ雨も降り出した。駒の小屋へも寄らずひたすら下る。雨も本降りとなりびしょぬれになって登山道入口に到着。昨年と同様登山口近くになって雨もあがった。ただ去年は太陽が出たが、今年はガスが立ち込めたまま。



会津駒ヶ岳山頂



中門岳

- ・駒の湯(500円/シャンプーなし)でゆっくりと疲れを癒し、昼食の弁当を食す。湯も私一人だけだったので、失礼して下着を洗濯させてもらった。
- ・13:00出発。会津若松で鶴ヶ城と飯盛山を探勝し、宿泊目的地の「道の駅・裏磐梯」へ。
- ・鶴ヶ城に着いたのは4時を過ぎたので中には入らず外からざっと見て周り飯盛山に向った。それこそ夕方まで日も落ちたのでほとんど人が居らず、静かな白虎隊の墓を拝することが出来た。
- ・今日の宿泊予定地の「道の駅・裏磐梯」へ急ごう。喜多方から東に向かって登り道、桧原湖へ下りる高台にその駅はあった。



鶴ヶ城



飯盛山から鶴ヶ城を眺める白虎隊戦士

- ・初めて泊まる道の駅、期待と不安を持って着いたのだが、まさに不安が的中した。この駅が幹線道路に面していない上に夕方5時を過ぎていておそかったためか、めちゃくちゃ寂しい駅だ。夕食をと思って来た食堂の店もしまっていて何も食うことが出来ず、それに車もチラホラしか止まっていない。うら寂しくとても寝る気にはなれない。食を求めて繁華街と思われる桧原湖へ下りてきた。
- ・ところがここも店は全てしまり車も人も何もいない、これが平日の観光地か！！
(そういえば日本を代表する観光地の箱根も平日の夕方は同じようなものだ)
- ・しかたなく数台しか駐車していない、だっ広い駐車場のトイレの近くに駐車し、非常食の「青いたぬき」で飢えを癒し、さっさと就寝。外は真っ暗、9:00眠りにつく。

* 教訓: 道の駅で夕食を予定するのは危険。途中ですますか弁当を用意すること。